令和７年度（２０２５年度）
社会福祉法人いなほ福祉会　通園めだか　事業報告

１．利用登録者数と利用実績（令和８年３月末）

【利用登録者数】　２６名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	20	22	22	17	20	23	18	21	19	19	20	241 日
延利用人数	422	425	454	481	366	414	511	387	447	403	402	431	5,143 人
1日平均	21.1	21.3	20.6	21.9	21.5	20.7	22.2	21.5	21.3	21.2	21.2	21.6	21.3 人

令和６年度　延利用人数 4,985 人　１日平均 19.5 人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	446	507	534	544	390	463	598	491	528	487	479	416	5,883 人

令和６年度　延利用人数　5,382 人

【保育所等訪問支援　利用登録者数】　　０名

令和６年度　延利用人数０人

【計画相談　利用登録者数】　　４０名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
継続支援	0	0	0	1	2	30	2	2	3	1	0	8	49 人
計画作成	8	1	4	0	1	0	0	0	0	1	0	23	38 人

令和６年度　延利用人数　継続支援 42 人　計画作成 43 人

【個別療育実績数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
めだか通園児	10	13	14	0	7	18	10	3	5	9	6	1	96 人
上記以外	0	1	4	6	6	6	5	5	5	5	4	3	50 人

２．職員体制

職　種	定数	現員
管理者	１名	１名（兼務）
児童発達支援管理責任者	１名	１名
相談支援専門員	１名	１名（兼務）
訪問支援員	１名	２名（兼務）
保育士または 児童指導員	６名	４名 ５名

機能訓練担当職員 （公認心理士１名・言語聴覚士２名）		３名（２名兼務）
指導員		４名（１名兼務）
看護職員		２名
給食調理員	１名	３名
送迎運転手		２名（１名兼務）
送迎添乗員		１名
管理栄養士（契約職員）		（１名）
嘱託医（嘱託職員）	（１名）	（２名）
合　　計	１１名 （１名）	２５名 （７名）

３．今年度の重点方針

①児童発達支援センターの機能強化に努めます

令和７年度は児童発達支援センターとしての機能強化を図るべく、地域の高齢者施設に所属する専門職との連携を通じた地域資源の拡大に注力しました。外部専門職の来園を受け入れ「子どもへの理解」を深める基礎段階から事前資料を踏まえながら協議を重ね、双方にとって最適な協働体制を模索しました。各領域における成果は以下の通りです。

・理学療法：個別支援の重要性を再確認したことで、一人ひとりの課題に応じた小集団活動の導入へと繋げることができました。

・作業療法：就学を控えた年長児を中心に現在の様子の中で適切なアドバイスを頂き、就学に向けて重点的に伸ばすべき課題を明確化しました。また専門職の目線、視点は年長児だけでなく他年齢の子どもの次なる支援へと繋げる事ができました。

・言語聴覚療法：当園の言語聴覚士と外部言語聴覚士が連携し、地域全体の子どもを支える為の共通認識を形成しました。今後の継続的な支援に向けた強固な土台を構築しました。

その他にも病院の専門職の方が地域の保育所へ訪問する事業に同行させていただき、子どもの発達段階や特性の面でのサポートを行い、病院の専門職と児童発達支援センターが連携して地域の保育所を支援する仕組みが作れたことは大きな一歩となりました。

また紀宝町の保育所との連携では、先生方の実習の受け入れ、療育・保育についての説明、公開保育でのアドバイス、全体会のサポートなど、一連の流れを一緒に行いました。最後の全体会では、通園めだかで学んだことの報告がされ、継続した研修で学びが積み重なっていることが実感としてあり、すべての子どもの豊かな発達が保障される地域づくりに繋がっています。

②副園長を置き、次の園長としての人材を育成します

令和７年度は、将来の施設運営を担う人材育成を最重点課題に掲げ、副園長および主任を設置して管理体制の強化を図りました。保護者学習会や懇談会の運営において、園長がバックアップを行いながらも、副園長が年間を通して主体的に開催・進行を担いました。これにより、保護者との信頼関係構築やニーズ把握について養うことができました。また、日々の保育実践および職員集団の形成においては、副園長と主任が緊密に連携を行う事で当園の保育・療育の柱を強固にしながら組織としての一体感を醸成しました。更に、現場における様々な判断機会において、園長が適宜助言を行いながらも、最終的な判断と完結までの責任を副

園長が担う体制を徹底しました。これらの経験を通じ、単なる実務の遂行に留まらない、管理者としての強い自覚と責任感、経営的視点の獲得に繋がる実践となりました。

③ケース検討会議を定例化し、子どもの発達保障に努めます

ケース検討会議では、一人ひとりの子どもの発達保障を深化させるため、心理職等を交えたケース検討会議を定例開催しました。多角的な見立ての実施として、発達段階や障がい特性を踏まえ、現在実施している保育・支援の内容が子どもの本当の願いに即しているか、客観的な視点から評価と分析を行いました。当初は専門職からの助言を受ける形が主でしたが、回数を重ねるごとに保育現場からも活発に意見や仮説が示されるようになりました。職員間で対話を積み重ねることで、子どもを多角的に捉える視点が共有されました。その結果、こどもの最近接領域を見極めた支援に近づき、発達保障に基づいた保育の実践を一歩進める事ができました。

④併行通園の実施にむけて模索します

児童発達支援センターとして、毎日通園以外の形態でも子どもたちを多角的にフォローできるよう、併行通園のスタイル作りを行いました。具体的には併行通園児に特化したグループ編成を行い、通園方法や対象児の選定基準など、運用全般の枠組みを今までのものから再構築しました。特に園での生活を支える保育所等訪問事業と連携させることで、センターと地域の保育所が一体となって子どもを支える体制を重視しました。これらの計画において、市町の保健師と意見交換をしながら行政窓口から適切な支援へ繋げるためのルートを構築する事ができました。今後はこの体制のもとで着実に実績を積み上げ、地域における療育の質の向上に寄与したいと考えています。

４．保護者学習会の実績報告

日程	内容	講師
５月２７日	ことばのねっこ	通園めだか　言語聴覚士　福田尚子
６月　３日	障がいのある子どもの為の教育	三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ　堀口佳子氏
６月１９日	特別支援学校の見学	くろしお学園教諭　小嶋先生・舛谷先生
６月２４日	通園の保育と療育の意味	通園めだか　副管理者　寺地有未
７月　１日	就学の先輩の話	先輩保護者４名
７月２２日	成人の働く場について タイダイ染め体験	ワークショップゆう　職員
８月２６日	転園について	通園めだか　臨床心理士　榎みお 副管理者　寺地有未　先輩保護者１名
９月１６日	発達について	通園めだか　管理者　下口公未佳
１０月　８日	特別支援学校の公開授業見学	通園めだか　管理者　下口公未佳
１０月２８日	幼児期の栄養について	通園めだか　管理栄養士　奥田陽子氏
１１月２５日	福祉制度の学習会	通園めだか　管理者　下口公未佳
１２月２３日	パン作り体験 いなほ作業所・平見ハイツ見学	いなほ作業所・平見ハイツ　職員
１月　６日	生活リズムを整えて子どものネット依存を防ぐ	三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ　堀口佳子氏
２月２４日	障がいについて	通園めだか　臨床心理士　榎みお

５．緊急時の対応

日　付	緊急時対応の状況およびその後の経過
６月２３日（月）	リズム活動時に他児と接触し床で後頭部を打つ事故が発生。脳神経外科を受診。医師の視診で検査の必要はなく、経過観察となる。暫く家庭と園で本児の様子を見てたが、異常はみられなかった。
７月２８日（月）	自由遊び中に崩れた際、テラス側の窓を強く叩き全面的にヒビが入る事故が発生。ガラスは保護シートを貼っていた為飛散する事はなく、子どもの怪我もなかった。
１０月３１日（金）	自由遊び時に室内で遊んでいた際転倒する事故が発生。右下唇からの出血を確認。歯は動いていなかったが念の為、口腔外科を受診する。特に異常が無いとの事で経過観察し、その後も異常は見られなかった。
１１月２５日（火）	自由遊び中、職員が子どもの腕や身体を持って回す遊びの後、肘が亜脱臼状態になっていることを確認。整復経験のある職員が整復し様子を見た後、降園時に整形外科を受診し異常なしとの診断を受けた。

６．事故発生時の対応

日　付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
１月２１日（水）	自由遊び時に転倒して滑り台の縁で口を打つ怪我が発生。右前歯の表面の３分の２が欠けていることから、歯科医を受診する。歯の色が変色してこないか経過観察となったが後日左前歯の変色が見られた為、再度受診する。左前歯が歯髄壊死状態との診断。永久歯に生え変わるまで経過観察してもらうためにかかりつけ医となる別の歯科医を受診。同様の診断となる。数回に渡る受診と歯の表皮欠損治療、歯髄壊死という事案であったことから、施設賠償責任保険を利用し、見舞金を支払った。

７．虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成　０名

【虐待案件】　　０件

【身体拘束発生案件】０件

８．苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

９．職員（援助者）の援助技術の向上

（１）職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	３回開催
・職員会議	→	１０回開催
・個別支援計画策定会議	→	４回開催
・モニタリング会議	→	８回開催
・ケース会議	→	２回開催
・給食会議	→	５回開催

（2）職員研修の実績報告

【内部研修】

日　程	主　催	研修内容	講　師	参加人数
４月　５日	いなほ福祉会	法人正規職員研修 法人の歴史と発達の学習動画視聴	法人職員	１名
５月２２日	通園めだか	発達の学習②③　動画視聴		１名
５月３１日	いなほ福祉会	虐待防止・権利擁護研修	法人職員 植村弘子　長尾淳司	１４名 ６名
６月２４日	通園めだか	救命救急法	紀宝町　消防士１名	６名
７月２６日	通園くじら	～乳幼児期の発達のみちすじを知る～ 発達の連続講座①	児童発達支援センターつくしんぼ園 発達相談員 山本翔太氏	７名
８月３０日	いなほ福祉会	通園めだかについて知ろう	通園めだか職員	６名
１１月２２日	通園くじら	～乳幼児期の発達のみちすじを知る～ 発達の連続講座②	児童発達支援センターつくしんぼ園 発達相談員 山本翔太氏	５名
１月１５日	いなほ福祉会	災害時の医療について	相野谷診療所 所長　森本真之助氏	６名
１月３１日	いなほ福祉会	障害者福祉制度について 災害時のエリア別ミーティング	相談支援事業所ヴィータ 前　邦朋氏 法人職員	６名
２月　７日	いなほ福祉会	生きにくさと周囲の理解 発達に凸凹のある子ども、そして大人の支援	ｴﾝｼﾞｮｲｳｪﾙﾋﾞｨﾚｯｼﾞｾﾝﾀｰ長 志村　浩二氏	５名

【外部研修】

日　程	主　催	研修内容	講師等	参加人数
７月　３日	発達支援部会	子どもの構音障害・吃音	通園めだか 福田尚子 ST	６名
８月３０日	発達保障学校	発達基礎理論臨床編コース	発達保障学校	１名
９月１３日	発達保障学校	発達診断方法論臨床編コース	発達保障学校	１名
１０月２３日	三重紀北消防組合	防火管理者講習	三重県紀北消防職員	１名
１１月１５日	串本町教育 委員会	いのちを育む「遊育（ゆういく）」という名の教育	NPO 法人園庭園外での 野育を推進する会 理事長　天野秀昭氏	１名
１２月１３日	発達保障学校	発達診断方法臨床編コース	発達保障学校	１名
１２月１９日	三重県	三重県相談支援専門員現任研修	三重県	１名
１月１０日	発達保障学校	発達診断方法臨床編コース	発達保障学校	１名
１月２７日	紀南地域母子保健 医療推進協議会	子どもたちへの災害時の救急対応 第２弾	相野谷診療所 所長　森本真之助氏	１名
２月１４日	発達保障学校	発達診断方法臨床編コース	発達保障学校	１名
２月２０日	三重県	三重県相談支援専門員現任研修	三重県	１名
２月２６日	通園施設等	運動機能につながる療育場面での	三重県子ども心身発達医療センター	２名

	連絡協議会	遊びについて	井川美咲 PT　西口大貴 PT	
３月　６日	発達支援部会	様々な精神障害を抱えた保護者の対応と理解	ｴﾝｼﾞｮｲｳｪﾙﾋﾞｨﾚｯｼﾞｾﾝﾀｰ長 志村　浩二氏	２名

１０．年間行事

日　程	内　容
４月　２日（水）	新年度保育開始
４月　４日（金）	入園式
４月	在園児家庭訪問
４月２２日（火）	春の遠足（寺谷公園）
５月	新入児家庭訪問
６月２１日（土）	家族参観
７月１８(金)１９日(土)	５才児お泊り保育
８月　２日（土）	夏まつり（鮒田区共催）
８月１２～１５日	夏休み
９月１日(月)～５日(金)	保育開放週間
１０月１８日（土）	運動会
１１月１１日・１８日	給食試食会
１０月～１２月	個人懇談
１２月１６日（火）	クリスマス会
１２月３０日～１月３日	冬休み
２月２１日（土）	生活発表会
３月　３日（火）	お別れ遠足（田代体育館）
３月１３日（金）	５才児おでかけ
３月２４日（火）	保護者懇談会（卒園・転園式　保護者の部）
３月２７日（金）	卒園式
３月３０日（月）	転園児お別れ会・保育修了日